



## ありがとう、ロータリアン！ ④ 心に染みだ言葉、手のぬくもり



米山学友  
オウ ギョウテイ  
王 曉婷 さん

出身国：中国  
奨学期間：2010 - 11  
学校名：大阪大学大学院  
世話クラブ：八尾中央RC

帰国してからもうすぐ1年になりますが、日本のお父さんとお母さんの笑顔が、いつも頭の中に浮かんできます。二人の顔を間近に見られなくなったことに、なかなか慣れません。でも、二人が私を気づかってくれていると、今も感じています。

### 親代わりになったカウンセラー夫妻

修士2年の4月、私は幸運にも米山記念奨学生として採用され、世話クラブの八尾中央ロータリークラブ(RC)の皆さんと知り合いました。皆優しく、私は大きな家族に入ったように感じました。特にカウンセラーの小倉郁夫さん(昨年6月末退会)と奥さんは、私を娘のように思って、親身に世話をしてくれました。以来、私も二人を「お父さん」「お母さん」と呼んでいます。

小倉夫妻は私の日常生活に関心を持ち、家族のイベントに誘ってくれたり、クリスマスや誕生日にお祝いをしてくれたり、大阪のいろいろな名所にも連れていってく

れました。大学院の学位記授与式に、親代わりとして二人そろって出席してくれたことは、忘れられません。

こうした思い出の中でも、私が特に忘れられないのは、2010年10月、二人と語り合ったある夜の事です。

### 心まで温められた夜

その前月の9月から、尖閣諸島事件の影響で、これまでにないほど日中関係が悪化していました。中国では反日デモが各地で行われ、現地の日本人が襲われる事件が起きましたし、日本でも中国大使館前で抗議デモが行われました。

当時はやはり「日中関係がこれ以上悪化したら、私たち中国人留学生にどのような影響があるのだろう」と、心配でした。日本人の友達との付き合いでも、「この人も、もしかして中国人に対して反感を抱いているかもしれない」と気になり、気まずい思いをしたものです。

10月19日の夜、八尾中央RCの例会に出席した後、お父さん、お母さんと喫茶店で話をしていた時、この話題になりました。

「曉婷さんの故郷の武漢でも反日デモが起こったね。テレビで見たよ」と、お父さん。「中国人は、中学の時から尖閣諸島が中国の領土だと習いますから、その反応はどうしても出てきます。武漢はたくさんの大学が集まる都市で、扇動されやすい若者も多いですから」という私の説明に、お父さんは納得されたようでした。



台湾の姉妹クラブとの統盟式で紹介される王さん。親睦行事にも参加して、通訳の手伝いも務めました



大学院の学位記授与式で、小倉夫妻と

外国人留学生である米山記念奨学生は、母国と日本との関係によって、時に両国の板挟みとなって苦悩することがあります。2010年秋、尖閣諸島問題に端を発して日中関係が悪化した時も、多くの中国出身の奨学生が胸を痛め、両国の関係改善を必死に願いながら、日本での留学生生活を続けていました。そのうちの一人、王晓婷<sup>オウキョウテイ</sup>さんが、当時のカウンセラーとの忘れられない思い出について寄稿してくれました。

私は笑いながら続けました。「大丈夫だと言うのに、中国の両親は心配して、『くれぐれも外では中国語を話すな』と言っていますよ」

すると、お父さんは真顔になって「ご両親に『心配しないで』と伝えて。私たちが曉婷さんを守るから。万が一、何かあったらいつでも連絡してね」と。お母さんも笑顔で、私を見てうなずきました。

母国の両親に心配されるようなことは起きない、と信じてはいましたが、小倉夫妻が外国人の私を「守る」と言ってくれた気持ちに、胸が熱くなりました。

あの日は夜風が寒かったけれど、帰る途中、私の手を握ったお母さんの手は、すごく温かかった。その温かさは私の心の中に広がり、今もずっと温めてくれています。

奨学生だった1年間、八尾中央RCの皆さんは、私に対し、変わらずに優しくかったです。皆さんのおかげで、私は留学生活の中で最も有意義で、楽しい時を過ごすことができました。

## 日々のささやかな努力を続けたい

昨年4月、私は故郷の湖北省に戻り、電力会社に入社しました。法務部門に配属され、現在、新人研修を受けています。具体的な仕事はこれからですが、日本で学んだ知識を生かし、電力会社の設備設置・管理運営の法的責任の明確化などに取り組んでいきたいと思えます。

私は周囲の人たちに、私が日本で経験したことを紹介しています。中国には、日本を誤解している人がたくさんいます。そのほとんどが日本に行ったことがなく、本当の日本を知りません。

「日本人は悪い人が多いの?」「中国人は日本で差別されるの?」と聞いてくる友人や知り合いに、私が日本でお世話になった人たちのこと、多くの人から受けた温かな親切について話しています。最初は皆、驚きますが、次第に納得してくれます。もっと多くの中国人が日本に対する認識を新たにして、日本を理解してくれるようになることを期待しています。

今の私にできるのは、こうしたささやかなことですが、日中友好のために、これからも日々努力を続けていきます。そうすることで、実の娘のようにお世話してくれた小倉夫妻、いつも親しく声をかけ、励ましてくれた八尾中央RCの皆さん、そして、奨学金を通じて支援してくれた全国のロータリアンに、感謝の気持ちを伝えたいと思います。

## ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または“よねやまだより”についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。  
TEL: 03-3434-8681 FAX: 03-3578-8281  
Eメール: mail@rotary-yoneyama.or.jp

## 「公益財団法人」に認定されました！

新公益法人制度が施行されたことに伴い、ロータリー米山記念奨学会では公益財団法人への移行を目指し、準備を進めてきました。理事会・評議員会を経て、昨年9月26日に内閣府公益認定等委員会へ申請し、同委員会で審議の結果、昨年12月26日に内閣総理大臣から認定書を受領しました。本年1月4日付で移行登記を行い、新たに「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」としてスタートいたしました。理事、監事、評議員、ご協力いただいたロータリアンの皆さまに感謝申し上げます。この奨学事業は、日本のロータリアンが60年にわたって推進している事業です。今後もご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。



公益財団法人の認定書